

近現代東アジアの文化と政治

土田 哲夫 編著

2015年12月15日発行

中央大学出版部 発行

本体価格 4,000円(税別)

まえがき		
第1章	伝統的天下共同体の地域統合概念の新発見 —歴史経験と文化価値の分析—	張 啓 雄 (花井みわ 訳)
第2章	韓国の民衆宗教・甌山教に現れた恨 —天地公事、解冤思想の概念と 『大巡典經』のテキスト分析を中心に—	上別府 正信
第3章	張之洞の「湖北海軍」建設と日本モデル	馮 青
第4章	もうひとつの「日本留学」 —張君勳の日本留学を例として—	原 正人
第5章	周作人の郷土をめぐる葛藤 —柳田国男「郷土研究」と江馬修の『ひだびと』—	子安 加余子
第6章	近代中国の民間団体と国際関係 —国際反侵略運動大会中国分会の事例研究—	土田 哲夫
第7章	中華民国の対「琉球」政策と沖縄史概略	齋藤 道彦
第8章	中国における権威主義体制を確立する手段としての 「人民代表會議」制度	杜崎 群傑
第9章	近年の中国における日本外交研究	李 廷 江
第10章	東アジア国際社会と葛藤の力学 —ポスト冷戦期の日韓関係と日本社会—	張 寅 性
あとがき		